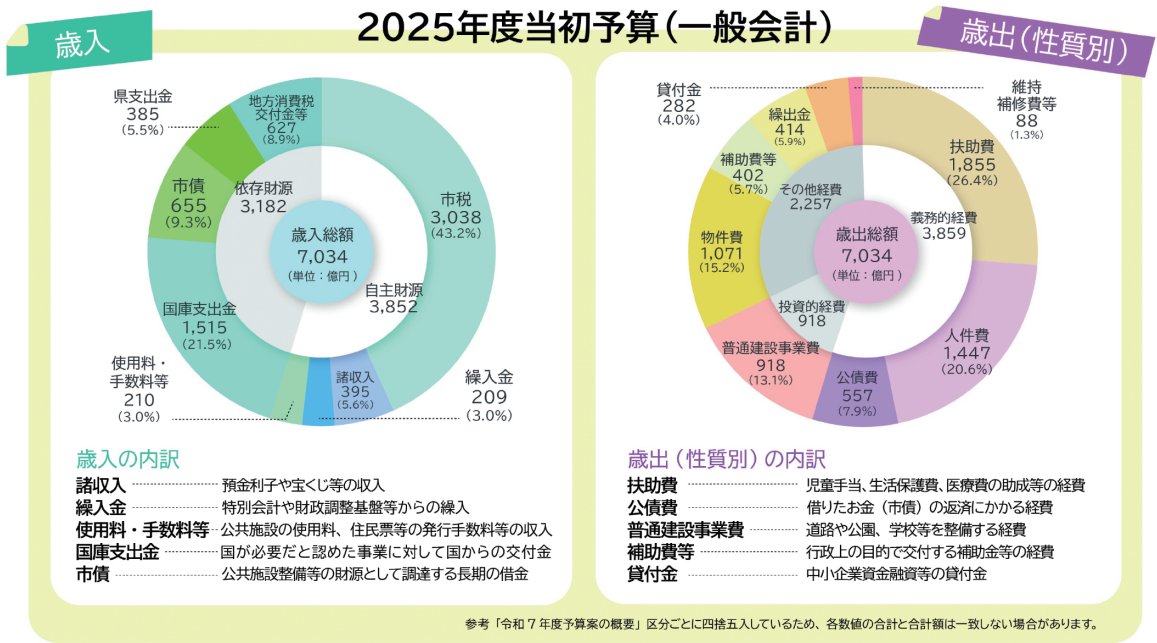


過去最大級の予算規模となる令和7年度予算が成立しました

予算規模

会計名	令和7年度	令和6年度	対前年度
一般会計	7,034億円	7,120億円	△86億円(△1.2%)
特別会計	3,323億円	3,355億円	△31億円(△0.9%)
企業会計	1,306億円	1,342億円	△36億円(△2.7%)
全会計	1兆1,663億円	1兆1,816億円	△153億円(△1.3%)



一般会計歳入予算 市税: 定額減税の終了等による個人市民税の増等により209億円の増
市債: 臨時財政対策債の皆減や普通建設事業分の市債の発行減により、244億円の減

一般会計歳出予算 扶助費: 児童手当の給付や障害福祉サービスの支給などの増等により、164億円の増
普通建設事業費: サーマルエネルギーセンター整備事業の減等により、345億円の減

新規・拡大される主な事業

新時代を切り拓くさいたま市らしさの深化

- 浦和駅西口南高砂地区市街地先開発の推進及び市民会館うらわ新施設の整備
- 南部エリアレジャーブルやスポーツシュレ推進施設の整備推進

誰一人取り残さない持続可能な地域社会の実現

- 保育人材の確保対策及び放課後児童支援員や幼稚園教諭の処遇改善
- 50歳以上の方への带状疱疹ワクチン接種(65歳以上の方は定期接種)の実施

激甚化する自然災害への対策強化

- 流域治水対策としての貯留施設等(栄和小学校、桜田2丁目公園、道場1丁目公園)の整備の推進
- 小・中学校体育館への空調設備全校設置に向けた整備の推進

DX推進と公民学共創による質の高い市役所の創造

- 書かない窓口の全区展開をはじめ窓口手続のオンライン化の拡充
- キャッシュレス決済の対象施設の拡大及び納付書のキャッシュレス決済やコンビ二納付に対応

埼玉県さいたま市桜区町谷3丁目24-15
TEL 048-710-4022 FAX 048-710-4023 E-mail : sakamoto-k@kfx.biglobe.ne.jp
編集・発行／さいたま市議会議員 阪本かつみ



阪本かつみ オフィシャルWEBサイト
<https://sakamoto-katsumi.net>

定例議会レポート2025.2月定例会

さいたま市議会議員

阪本かつみ

～市民に開かれた議会を目指して～

議会での役職

立憲民主・無所属の会さいたま市議団 団長／市庁舎等整備検討特別委員会 委員長／まちづくり常任委員会 委員
予算委員会 副委員長／まちづくり常任委員会 委員

さいたま市議会2月定例会は2月4日から3月13日までの日程で開かれました。

議会冒頭に新年度に臨む市長の所信及び市政の基本方針が述べられるとともに、令和7年度当初予算議案をはじめ合計85議案が提出され、論戦がスタートしました。

特に、私が副委員長を務める予算委員会での審査では、激甚化・頻発化する自然災害への対策強化や物価高騰による市内経済への影響、少子化対策・子育て支援策の拡充及び超高齢社会の到来に直面する中での福祉施策の充実などについて議論が活発に交わされ、過去最大級の予算規模となる令和7年度予算が成立しました。

今回のレポートでは、令和7年度予算の概要及び委員会での質疑や一般質問の内容等についてご報告いたします。



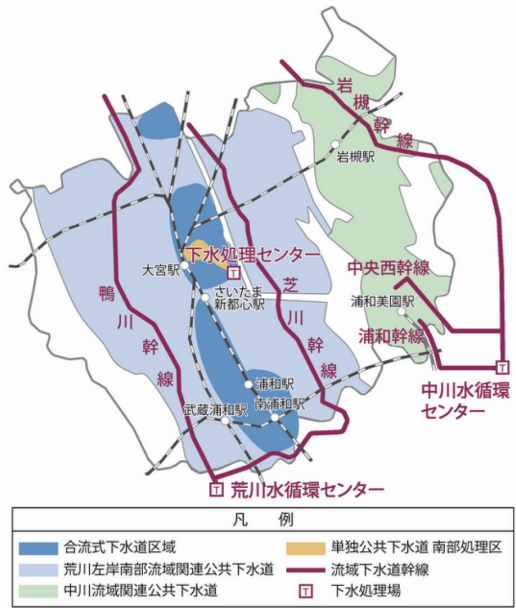
予算委員会で質疑を行う阪本

八潮市の道路陥没事故を受けて、本市の下水道の管理状況を問う

国土交通省から、流域下水道管理者が管理する晴天時1日最大処理量300,000㎡以上の大規模な下水処理場に接続をする口径2,000mm以上の大きな下水道管路の緊急点検を行うよう要請がありました。

しかしながら本市には点検対象に該当する管路はないことから、本市独自の緊急点検として、口径800mm以上の下水道管路約240kmの緊急点検を実施し、異常がないことを確認しました。

※流域下水道とは、二つ以上の市町村の区域にわたる広域的な下水道で県が管理する



令和6年12月定例会にて 市政に対する一般質問に登壇

西浦和駅周辺のまちづくりについて

質問 阪本
令和6年度中の策定を目途としている西浦和駅周辺のまちづくりの手法や実施時期、実施主体などを示す「西浦和駅周辺まちづくりアクションプラン」の内容について伺う。

▼
答弁 清水市長
現在、まちの将来像を視覚的に示し、市民や関係団体等と共有できるよう、アクションプランの策定を進めている。市の最も重要な取り組みである南口駅前広場及びアクセス道路の整備については、短期的には都市計画決定、中長期的には田島団地再生事業と連携を図りながら整備を進めていく。また、その他の地域については、地区計画や準防火地域の指定により、安心安全なまちづくりに取り組んでいく。

田島産業集積拠点整備について

質問 阪本
この地区は土地の細分化が進められ、住宅と資材置場等が混在した土地利用がされており、道路等のインフラも未整備な状況である。このような現状を踏まえ、これまでの土地区画整理事業による事業推進にこだわることなく、新たな整備手法も検討すべきと考えるが、見解を伺う。

スポーツシュレ推進施設を桜区のシンボリックな施設に

質問 阪本
県衛生研究所跡地（桜区）に予定されるスポーツシュレ推進施設の整備にあたり、地元からも愛される桜区のシンボリックな施設とするために、どのようなことを考えているのか伺う。

▼
答弁 スポーツ文化局長
地域の方々が気軽に本施設を訪れ、スポーツを始めるきっかけやスポーツを続けるためのモチベーションになるような機能、あるいは、地域における防災機能の役割を果たしていくことも検討していく。



一般質問に登壇する阪本

質問 阪本
南口駅前広場や地区内幹線道路の都市計画決定はいつになるのか。また、駅西側へのアクセス性向上についての考え方を伺う。

▼
答弁 都市局長
駅前広場や幹線道路の整備については、令和7年度中の都市計画決定を目途に作業を進めていく。また、駅から17号バイパス西側へのアクセスについても、西側の駅前広場や自転車のアクセスなども含めて検討していく。

▶
答弁 経済局長
土地区画整理事業による整備手法だけでなく、地区の課題である乱開発の防止や基盤整備が促進され、産業集積拠点としてふさわしいまちづくりが進められるような手法の有無を検討しており、令和6年度内を目途に新たな方向性を示していく。

※市街化調整区域における地区計画制度を想定している



さいたま市南部エリアの拠点となる レジャープールの整備に向けて

沼影市民プールの廃止に伴い、新たに南部エリア（桜区、南区、浦和区、中央区、緑区）に拠点となるレジャープールを整備する方針が示された。

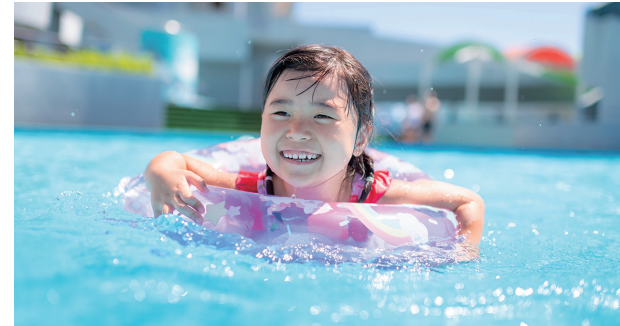
- 整備の基本的な条件**
- ・南部エリアにあり、アクセスしやすい
 - ・周辺地域と共存できる
 - ・子供たちが一日楽しめる
 - ・早期の機能発現
 - ・子供たちや子育て世帯が利用しやすい
 - ・夏季以外も市民で賑わう

候補地(案)

名称	土地面積	土地所有	利用状況
桜区役所南側公園予定地	11.6ha	国・県・民間(3.1ha)	農地・雑種地
クリーンセンター西堀	1.2ha	市	クリーンセンター（廃止予定）
田島臨時グラウンド	2.3ha	国・市・民間(0.1ha)	グラウンド
原山市民プール	0.8ha	市	市民プール

スケジュール

オープンハウス、インターネットアンケートによる市民意見聴取や民間事業者へのサウンディング調査の結果を踏まえて、令和7年度前半に候補地を決定する。



さいたま市立知的特別支援学校の新設について、 市長、教育長に要望書を提出

さいたま市民が通学する県立の知的特別支援学校は定員を超過する過密状態であることから、さいたま市として早急に抜本的な対策を行うべきと考え、緊急要望を行いました。

現在、さいたま市は、埼玉県から県立浦和工業高校の跡地活用を含めた市立特別支援学校の設置の依頼を受けて、検討を進めています。

また、地域の皆様方より、地域の安全や発展につながる施設とすること等の要望をいただいていることから、県と協議を進めています。



清水市長へ要望書を渡す阪本